

4.3 メガロベントス

メガロベントス調査の結果を表 - 4.2、図 - 4.3、図 - 4.4 および資料編に示します。

調査全体で、6門7綱51種類の生物が確認されました。分類群別にみると、甲殻類（フジツボやカニの仲間）や二枚貝の仲間などが多く確認されました。確認された生物はいずれも汽水性や海産性の種類であり、干潟やヨシ原の底泥上で生活する生物、底泥中に埋在して生活する生物、底泥中に生息孔を掘って生活する生物、干潟上の礫などに固着して生活する生物など様々でした。

メガロベントス調査を行った場所では、広いところで幅200m程度の干潟が干出していました。その構成材料は泥、砂泥、砂、礫など変化に富んでおり、また、地形的にも地盤高の高い場所から低い場所までありました。さらに広いヨシ原や塩性植物の群落、低木などもあり、多様な環境がみられました。

そこに生息するメガロベントスの生息状況は種類により異なっており、例えばヤマトオサガニは、調査範囲上流側を中心に開放干潟全体に比較的広く生息し、特に地盤高の低い泥質部から砂質部に多くみられました。一方、同じスナガニ科のコメツキガニは、もっぱら地盤高の高い場所にのみ生息し、特にヨシ原近くの砂質部に多く見られました。イワガニ科のアシハラガニは開放干潟でもみられましたが、多くはヨシ原や塩性植物群落の中に生息しており、特にヨシ原の縁辺部で多くみられました。環境省のレッドデータブックで貴重種になっているトビハゼは、調査範囲内の2箇所では確認されず、その場所の底質は主に軟らかい砂泥で、近くにヨシ原のある場所でした。

全体的には、変化に富んだ多様性の高い環境に多様な種類の生物が生息しており、多摩川河口干潟のメガロベントスの生息状況は比較的良好であるものと考えられました。

【カニのダンス】

干潟にすむカニの中には、両方のはさみを振り上げてダンスを踊るカニがいます。多摩川河口干潟にいるカニでは、コメツキガニやチゴガニがダンスを踊ります。

コメツキガニのダンスはダイナミックで、足を踏ん張って体を持ち上げ、両方のはさみをゆっくりと振り上げては下ろします。チゴガニのダンスはコメツキガニよりも単純で、はさみを上下にはやく動かします。

このようなカニのダンスには、オスがメスに求愛する意味や、オス同士のなわばり行動の意味があると考えられています。



コメツキガニのダンス



表 - 4.2 メガロベントス確認種一覧

調査方法：目視観察等

No.	門	綱	目	科	種			
					学名	和名		
1	刺胞動物	花虫	イソキ ンチャク		ACTINIARIA	イソキ ンチャク目		
2	扁形動物	ウス ムシ	ヒラムシ		POLYCLADIDA	ヒラムシ目		
3	軟体動物	マキガイ	ナ	カザ ンショウガイ	Angustassiminea castanea	クノカザ ンショウガイ		
4					Assiminea sp.	カザ ンショウガイ属		
5			ニマイガイ	ハイ	ムシロガイ	Hinia festiva	アラムシロガイ	
6				イガイ	イガイ	Xenostrobus securis	クノエンカクハ リガイ	
7						Musculista senhousia	ホトキ スガイ	
8						Mytilus galloprovincialis	ムラサキイガイ	
9				ウグ イスガイ	イホ ガキ	Crassostrea gigas	マガ キ	
10				ハマグリ	ハ カガイ	Mactra quadrangularis	シロカガイ	
11					ニッコウガイ	Macoma contabulata	サビ シタリガイ	
12					マテガイ	Solen strictus	マテガイ	
13					シジミ	Corbicula japonica	ヤマトシジミ	
14					マルスタレガイ	Cyclina sinensis	オキシジミ	
15					Ruditapes philippinarum	アサリ		
16			ウミタカ イトキ		オキナガイ	Laternula marilina	オトナリガイ	
17			環形動物		ゴカイ	サシバ ゴカイ	ゴカイ	Neanthes japonica
18			節足動物	甲殻	フジ ツボ	フジ ツボ	Balanus albicostatus	シロシ フジ ツボ
19		Balanus amphitrite					タテ フジ ツボ	
20		Balanus eburneus					アメリカフジ ツボ	
21		Balanus improvisus					ヨーロッパ フジ ツボ	
22		Balanus kondakovi					ドロシア ツボ	
23	ワラジ ムシ	フナムシ			Ligia exotica	フナムシ		
24		ゴツブ ムシ			Gnorimosphaeroma sp.	イソツブ ムシ属		
25	ヨコエビ	メリタヨコエビ			Melita sp.	メリタヨコエビ 属		
26	エビ	テナガ エビ			Palaemon macrodactylus	エビ ナガ ス エビ		
27						Palaemon sp.	スジ エビ 属	
28					テッポウ エビ	Alpheus brevicristatus	テッポウ エビ	
29					Alpheus sp.	テッポウ エビ 属		
30		ハサミヤコエビ			Laomedea astacina	ハサミヤコエビ		
31		アサシ ャコ			Upogebia major	アサシ ャコ		
32		ホンヤド カリ			Pagurus dubius	エビ ナガ ホンヤド カリ		
33		スナガ ニ				Ilyoplax pusilla	チゴ ガニ	
34						Macrophthalmus abbreviatus	オサガ ニ	
35						Macrophthalmus japonicus	ヤマトオサガ ニ	
36						Scopimera globosa	コマツキガニ	
37		イワガ ニ				Chiromantes dehaani	クノヘ ンケイガ ニ	
38						Chiromantes haematocheir	アカテガニ	
39						Clistocoeloma merquiense	ウモレヘ ンケイガ ニ	
40						Helice tridens	アシハラガニ	
41	Hemigrapsus penicillatus					ケフサイガニ		
42	Parasesarma pictum					カヘ ンケイガ ニ		
43	Sesarmops intermedium					ヘ ンケイガ ニ		
44	コブ シガニ					Philyra pisum	マメコブ シガニ	
45	脊椎動物	硬骨魚			スナギ	ハセ	Tridentiger obscurus	チヂ
46							Gymnogobius castaneus	ヒ リンゴ
47							Gymnogobius macrognathos	イト ハセ
48			Acanthogobius flavimanus	マハセ				
49			Eutaeniichthys gilli	ヒモハセ				
50			Periophthalmus cantonensis	トビ ハセ				
51				GOBIIDAE			ハセ 科	

注) 魚類については、網等を用いずに確認できた種類を示します。



注) 底質は目視観察による表面泥の外観を示します。

図 - 4.3 メガロベントス生息環境

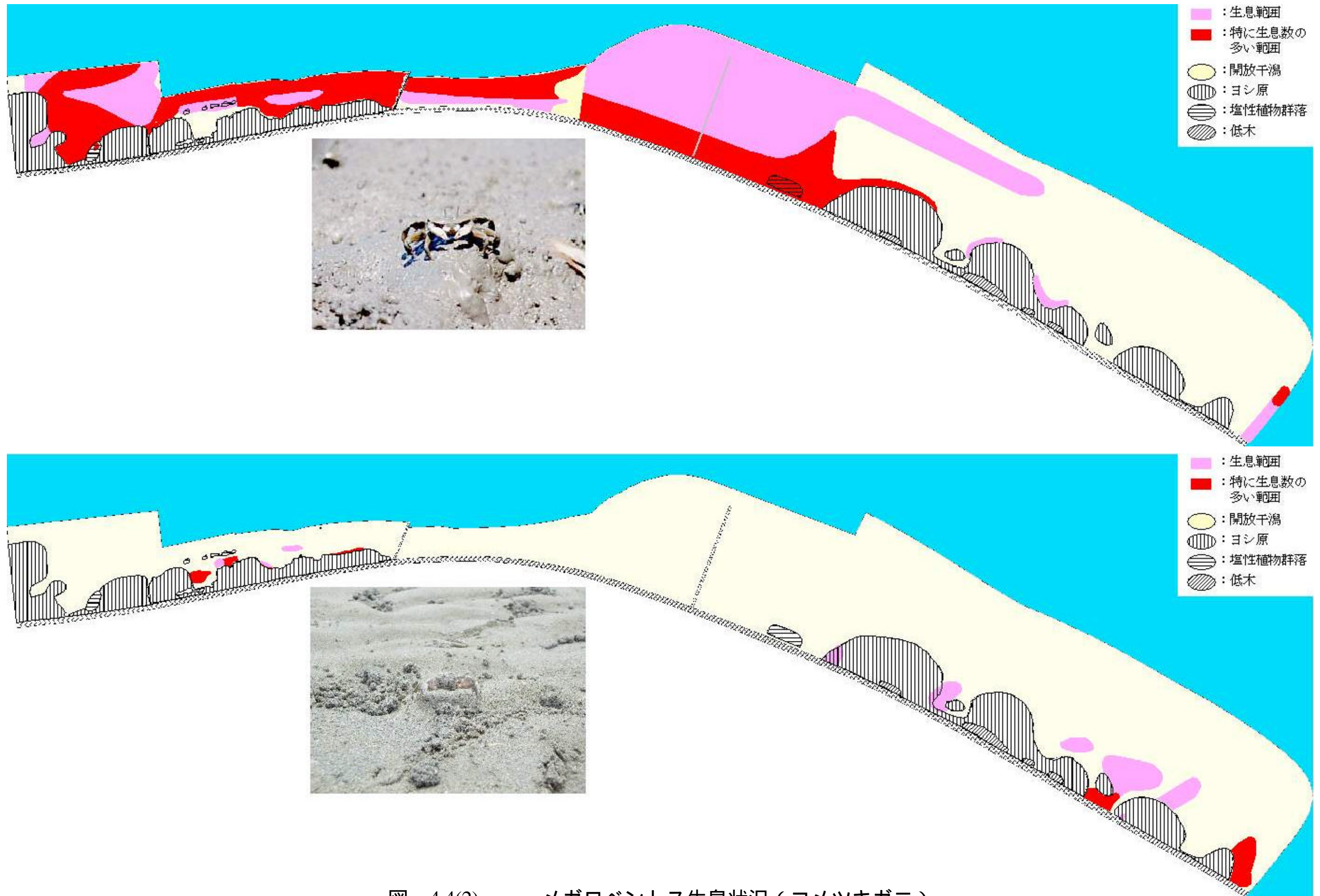
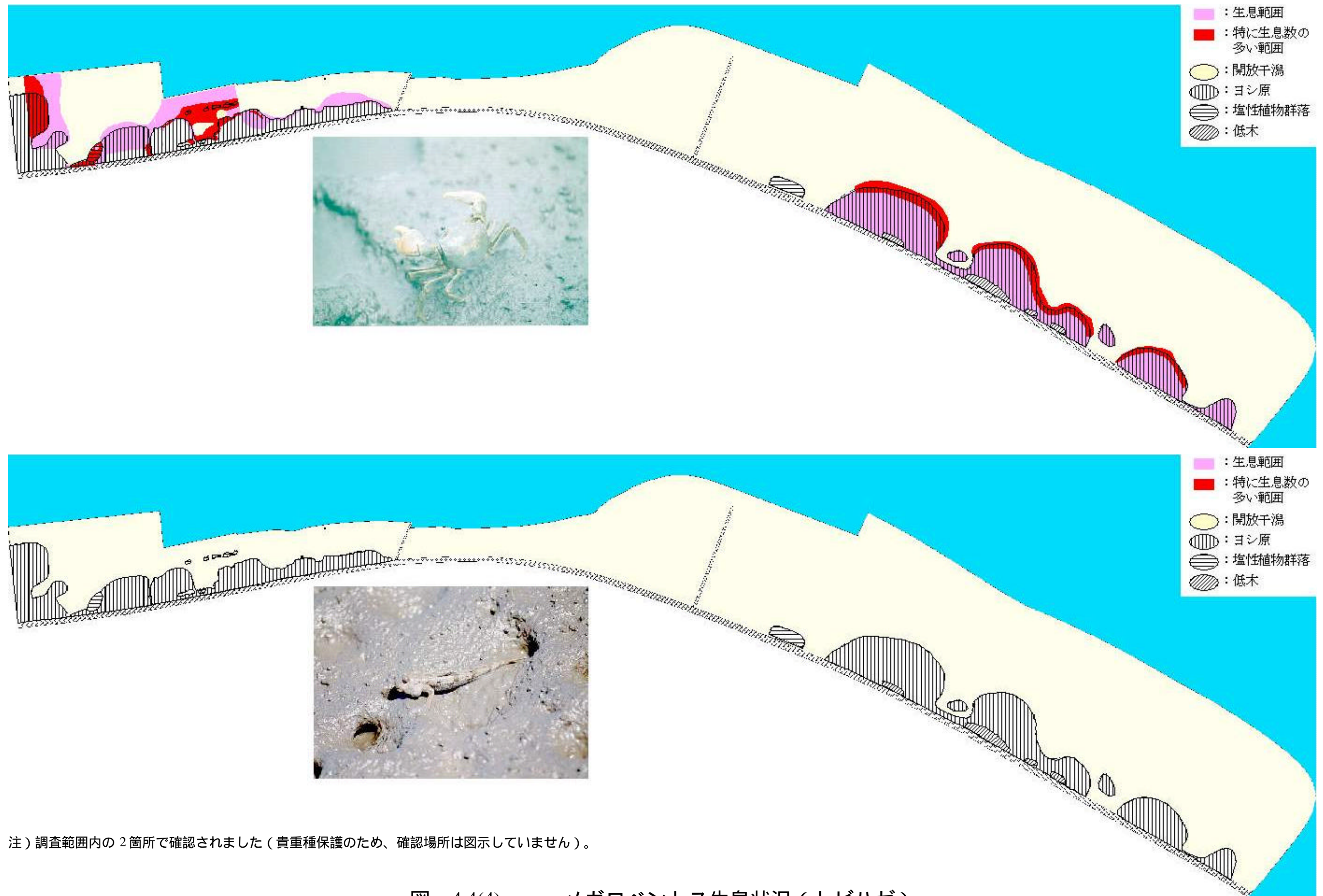


図 - 4.4(2) メガロベントス生息状況 (コメツキガニ)



注) 調査範囲内の 2 箇所で確認されました (貴重種保護のため、確認場所は図示していません)。

図 - 4.4(4) メガロベントス生息状況 (トビハゼ)